

公益財団法人 さっぽろ青少年 女性活動協会

事業概要



INDEX

■会社概要

活動協会のあゆみ 1

■事業紹介

青少年の健全育成と社会参加に関する事業 2
 社会教育の推進に関する事業 3
 市民活動の振興に関する事業 4
 その他法人の目的を達成するために必要な事業... 4・5
 施設管理運営事業【施設管理MAP】 6・7

■管理施設紹介

(自主運営)

札幌市滝野自然学園 8

(指定管理・受託管理)

札幌市児童会館 9
 札幌市ミニ児童会館・放課後子ども館
 札幌市こどもの劇場やまびこ座 10
 札幌市こども人形劇場こぐま座
 札幌市若者支援総合センター 11
 札幌市若者活動センター
 札幌市北方自然教育園 12
 札幌市定山溪自然の村 13
 札幌市青少年山の家 14
 札幌エルプラザ公共4施設 15

■助成事業

助成事業 16
 情報発信 17

活動協会 設立の 経緯・趣意

当財団設立前にあたる1973(昭和48)年12月1日、青少年活動の経験者を中心に、青少年のためのリーダー養成などを行う任意団体である札幌ユース・ワーカー協会が設立されました。その後、札幌市青少年婦人部(当時)と札幌市教育委員会の協力により1978(昭和53)年に札幌グループ・ワーク協会へと姿を変え、さらに活動を充実させていきました。

1980(昭和55)年4月1日、札幌市青少年問題協議会から「青少年育成に関する当面の対策について」の提案書が札幌市議会に提案され、札幌市とグループ・ワーク協会の協議のもと、「青少年健全育成等のために、グループ活動の指導に関して専門的知識を有し、かつ実践的活動のできる専門指導者(グループワーカー)の確保」を目指して財団法人札幌市青少年女性活動協会が設立されました。

以来30年以上が経過し、社会の価値観の多様化と時代の変遷に合わせながら、グループワーカーとして人と人とのふれあいを通じてあたたかな社会を創るため、私たちに関わる人に需要と自己表現の機会を提供し、そこから社会参加を促すべく活動してきました。この活動を日々実践していくために、グループ活動の指導者養成や、キャンプ活動・レクリエーション活動等のプログラムの企画・指導を行うほか、青少年女性に関する諸施設の管理運営を札幌市から受けるに至っています。

2013(平成25)年4月1日には、公益法人制度改革に伴い、「公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会」として生まれ変わりました。これまでに培った技術と知識を十分に発揮し、人とのつながりを通じた青少年の健全育成と青少年女性の社会参加の実現と、豊かな生活の実現を追求するべく、さらなる高みを目指し活動してまいります。

会社概要

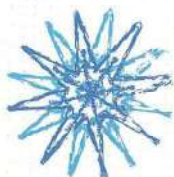
活動協会のあゆみ

沿革

- 1980(昭和55年).4 財団法人札幌市青少年婦人活動協会設立
札幌勤労青少年ホーム等へ職員派遣
- 1981(昭和56年).11 札幌市婦人文化センター管理運営業務を受託
- 1982(昭和57年).2 札幌市青少年センター管理運営業務を受託
- 1986(昭和61年).4 札幌市児童会館(一部)管理運営業務を受託
- 1988(昭和63年).4.1 札幌市こどもの劇場「やまびこ座」
札幌市こども人形劇場「こぐま座」管理運営業務を受託
- 1993(平成5年).4 札幌市勤労青少年ホーム管理運営業務を受託(～平成22年3)
- 1997(平成9年).8 札幌市ミニ児童会館管理運営業務を受託
- 1998(平成10年).4 札幌市定山溪自然の村管理運営業務を受託
- 1999(平成11年).4 「滝野自然学園運営委員会」を地元町内会等と共に組織し
札幌市滝野自然学園の管理運営業務を受託(～平成21年3)
- 1999(平成11年).6 札幌市内児童会館全館の管理運営業務を受託
- 2000(平成12年).8 財団事務局を生涯学習センターちえりあ内に移転
- 2003(平成15年).8 財団法人札幌市青少年女性活動協会に名称変更
- 2004(平成16年).1 雪まつり大雪像制作団ボランティア指導業務を受託
- 2006(平成18年).4 児童会館における中高生夜間利用事業(現ふりーたいむ)を受託
児童会館における子育てサロン事業を受託
さっぽろ若者サポートステーション業務の受託
- 2006(平成18年).4 札幌エルプラザ公共4施設及び既存受託施設の管理運営業務を
指定管理者として受託
- 2009(平成21年).4 札幌市滝野自然学園を自主運営施設として管理運営業務を開始
- 2010(平成22年).4 札幌市若者支援総合センター
札幌市若者活動センター5施設
札幌市青少年山の家
札幌市北方自然教育園及び既存受託施設の管理運営業務を指定管理者として受託
青少年山の家主催事業「トライキャンプ」を開始
- 2010(平成22年).7 「東日本大震災」被災地支援活動を開始
- 2011(平成23年).8 札幌まなびのサポート事業「遊学舎まなべ」を受託
- 2012(平成24年).4 公益財団法人に移行「公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会」としてスタート
- 2013(平成25年).4 財団事務局(新琴似オフィス)の開設
- 2014(平成26年).7 江別・岩見沢若者サポートステーション事業を受託
- 2016(平成28年).1 定山溪自然の村主催「定山溪ウインター・キャンプ・フェスティバル」事業を開始
- 2016(平成28年).4 「働く女性のためのキャリア支援事業」コワーキングスペース事業を受託
- 2018(平成30年).8 子どものくらし支援コーディネート事業を受託
- 2018(平成30年).9 中島児童会館・こぐま座資料室「MA・SO・BO」を開設
- 2018(平成30年).10 女性の多様な働き方支援窓口運営事業ここシェルジュSAPPORO総合案内業務を受託
- 2020(令和2年).4 財団設立40周年



公益財団法人 さっぽろ青少年女性活動協会 は、
人とのつながりを通じて青少年の健全育成と青少年女性の社会参加を促進し、魅力あふれる
地域社会創造のための主体的な活動を支援することにより、地域社会の発展及び向上を図り、
もっと豊かな生活の実現に寄与することを目的に事業を展開しています。



青少年の健全育成と社会参加に関する事業

遊び、芸術・文化、自然、地域などあらゆる分野や角度から、現代に必要と考えられるさまざまな事業
を実施し、青少年の健全育成と社会参加の促進に貢献します。

滝野自然学園事業

滝野自然学園の施設と周辺フィールドを効果的に活用した、特色
のある自然体験活動事業を実施しています。

幼児と保護者を対象とした『たきの森のようちえん』、小学生を対
象とした『森のがっこう』の他、発達段階に応じた効果的なプログラム
を展開することで青少年の健全育成を目指しています。

(→P8)



児童会館及びミニ児童会館事業

0歳から小学校就学前の子どもとその保護者の交流の場を提供す
る「子育てサロン事業」の実施や、留守家庭児童の居場所づくり事業
「放課後児童クラブ」の実施、学習支援など、次代のニーズに対応し
た事業を展開しています。その他にも、季節行事や自然体験活動、
工作会などの創作活動、スポーツなど様々な事業を展開することで、
子どもたちの健全育成を支援します。(→P9)



こどもの劇場やまびこ座・こども人形劇場こぐま座事業

初心者のための人形劇講座や、市民劇団育成事業など、札幌の
文化活動を支える人材の育成。また、子どもたちを対象にした人形劇・
演劇・伝統芸能などの講習会やワークショップを実施するなど、子ど
もたちの創造力を育む豊かな体験の場を提供しています。その他に
も小学校の表現活動支援や、人形劇・演劇等の指導者を派遣するな
どのアウトリーチ活動も実施しています。(→P10)



若者支援施設事業

引きこもりやニートなどの自立を支援する、就労支援トレーニング
やコミュニケーショントレーニング、生活習慣改善などの各種プログ
ラムを実施。また、その家族を対象とした相談会やセミナーの実施
など、多方面からのアプローチを行っています。他にも、地域のイベ
ントなどに若者がボランティアとして参加する機会を提供するなど、
地域活動ネットワークの構築にも取り組んでいます。(→P11)



社会教育の推進に関する事業

人とのつながりを大切にし、豊かな自然環境の中で家族や集団での活動機会を創出し、自然体験活
動を通じて楽しく学びながら豊かな人間性を育てていきます。

北方自然教育園事業

各種の体験事業や自然観察・採集等を通じて、札幌の自然環境理
解を図り、農作物、生物、博物、地域の歴史など自然科学、自然史
系の学習機会と自然体験活動の機会を提供します。

また、地域との連携を図り、地域住民の自主的な活動の支援や交
流事業を通し、施設ボランティアの養成なども行っています。

(→P12)



定山溪自然の村事業

豊かな自然環境の中で、自然の営み、自然との関わりを体験する
ための機会を設け、自然とともに生きる重要性を考えその方策を実
践するための環境を提供しています。森づくりを学ぶ体験フィール
ドの環境保全や、森林ガイド育成などの環境教育事業にも力を入れて
います。(→P13)



青少年山の家事業

市内小学校の宿泊学習での利用など、札幌市の野外教育施設とし
て生涯学習の観点から野外活動の普及を行っています。教育現場で
の課題となっている「小1プロブレム」や「中1ギャップ」などの対策事
業や、大人を対象とした野外、自然観察、天文、陶芸などの分野別
のボランティア育成事業などの人材育成事業も実施しています。

(→P14)





市民活動の振興に関する事業

より良い地域づくりのための主体的な活動を支援するために、市民活動の振興を図る事業を行っています。男女共同参画社会の推進や、人とのつながりを感じる魅力あふれる地域社会の確立をめざします。

札幌エルプラザ公共4施設事業

男女共同参画啓発事業、市民活動関連事業、環境関連活動事業等各分野に関するシンポジウムや講演会、各種講座などを開催しています。また、各分野に分かれた相談窓口や情報誌の発行なども行っています。インターンシップや実習の受入れなど、市民活動等に関する人材育成と社会貢献事業にも取り組んでいます。(→P15)



その他法人の目的を達成するために必要な事業

多様化する社会において、広範囲にわたるプログラムの開発・研究にも重点をおき、協会オリジナルの事業を実施。そこで蓄積してきた実践力を評価していただき、札幌市の関係機関だけではなく地域社会や企業などからもプログラムの企画・運営などの依頼を受けております。

イベント関連事業

活動協会は昭和55年の設立以来、グループ活動の中心ともいえるグループワーカー養成やその活動に効果的なキャンプやレクリエーション事業など全市的な視野に立って活動の活発化を図ってきました。

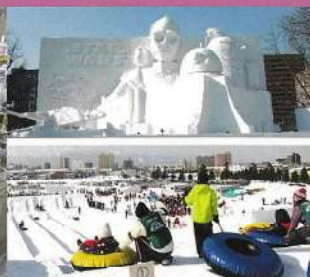
そのノウハウを活かし、人と人をつなぐコーディネーターとして、札幌市の関係機関だけではなく地域社会や企業などからも企画・運営の依頼を受け、各種事業を主催・受託しています。



■共催・受託事業 過年度実績(一部抜粋)



ミニさっぽろ



さっぽろ雪まつり



ZOOナイトキャンプ

■公募型プロポーザル方式事業 過年度実績(一部抜粋)



さっぽろ水道フェスタ



下水道科学館フェスタ



おもてなし推進事業

■イベントプログラム(一例をご紹介します)



巨大迷路に挑戦

北海道最大級の迷路でイベントのインパクトを盛り上げます。自由な設計が可能で、クイズやチェックポイントを取り入れることも可能です。



伝承あそび・昔あそび・工作会

こま・けん玉・パッチ・竹とんぼ…等々の名人・達人が丁寧に指導します。伝統的な日本のあそびを楽しむことができます。また、年齢に応じた工作会なども実施しています。



子ども向けステージ

音楽を核とした表現あそび。歌や手あそびでステージと観客が一体となって盛り上がります。子どもから大人まで、笑顔が会場に満ちあふれます。

チャレンジゲームコーナー

協会職員手作りのチャレンジゲームを多数用意しています。運だめしや身体をつかったゲームなどバラエティに富んだ内容で、飽きることない時間を提供できます。

専門性を活かした事業提案と施設管理のノウハウで 広がり続けるネットワーク

昭和55年の設立時に滝野自然学園管理運営補助業務を受託して以来、グループワークを手法とした各種の事業を評価していただき、札幌市の青少年女性関連施設の管理運営業務等を次々と受託してきました。現在では、滝野自然学園を自主運営しているほか、指定管理者制度のもと、これまでの施設管理や事業運営のノウハウを活かした提案を行うことで、指定管理者として多くの施設の管理運営を行っています。

札幌市滝野自然学園

廃校となった滝野小学校の校舎をそのまま利用した、今では珍しい木造の野外教育施設。自然体験活動、レクリエーションや職員研修の場としても活用できます。

詳しくは **P8** へ





**札幌市児童会館
札幌市ミニ児童会館**

小学生から高校生までのほか、乳幼児と保護者が思い思いの時間帯で、様々な体験活動を行える施設。行事などを通じて地域の方々との交流の促進も行っています。

詳しくは **P9** へ





**札幌市こどもの劇場
やまびこ座**

人形劇、児童劇など児童文化の創作・学習・発表・鑑賞の場。図書貸出し、読み語りの会、工作会なども行っています。

詳しくは **P10** へ



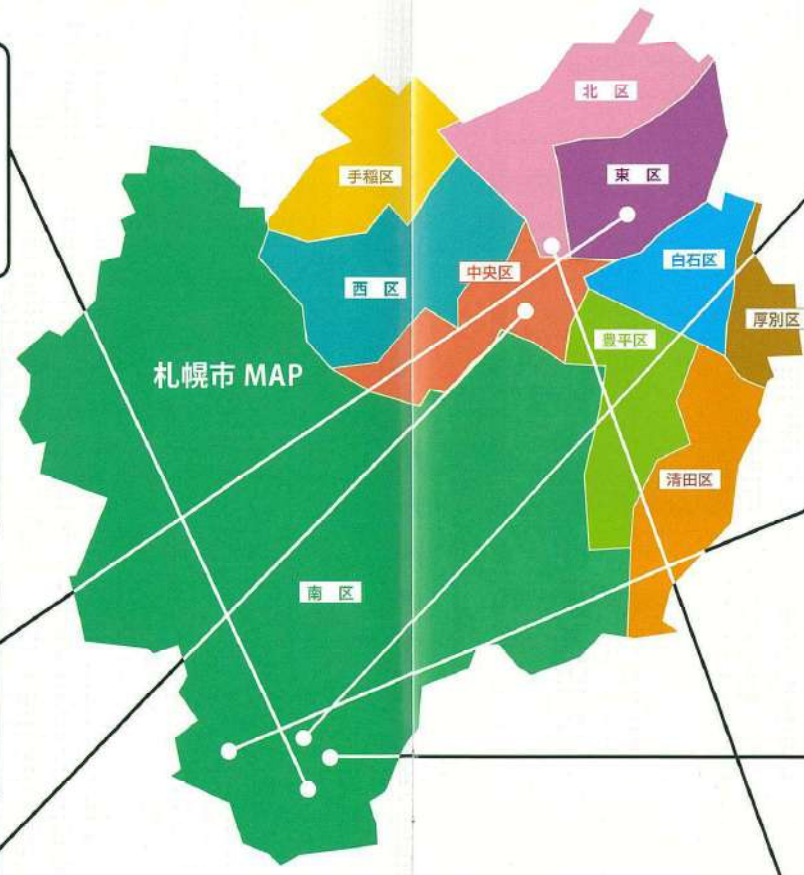


**札幌市こども人形劇場
こぐま座**

公立としては日本で初めてつくられた人形劇の専門劇場。人形劇・魔話術・紙芝居など、市内で活躍しているアマチュアが中心となって上演を行っています。

詳しくは **P10** へ



自動車 バス 地下鉄 駐車場あり 授乳室あり W.C. 障害者用トイレあり

**札幌市若者支援総合センター
札幌市若者活動センター**

若者の社会的自立支援や若者と地域をつなぐ拠点としてのサポート、仲間作りや交流の促進を行っています。

詳しくは **P11** へ




**札幌市
北方自然教育園**

自然豊かな立地条件を活かして、自然に触れ親しむことのできる体験農場や学習館などがあります。

詳しくは **P12** へ




**札幌市定山溪
自然の村**

幼児から高齢者まで、親子やグループが一緒になって学べる体験型の施設。村内には宿泊施設も備えており、宿泊しながら野外活動や自然体験ができます。

詳しくは **P13** へ




**札幌市
青少年山の家**

国営滝野すずらん丘陵公園内にある野外活動施設です。季節を問わず様々な野外活動を体験することができます。

詳しくは **P14** へ




**札幌エルプラザ
公共4施設**

男女共同参画センター、消費者センター、市民活動サポートセンター、環境プラザの4施設。豊かな街づくりのための活動や交流をするための拠点施設です。

詳しくは **P15** へ




自主運営

札幌市滝野自然学園

<http://www.syaa.jp/takino/>

※施設情報詳細はお問い合わせください。



基本情報

札幌市南区滝野106番地
TEL.011-591-8780 FAX.011-591-9401

交通アクセス

- 自動車→ 地下鉄真駒内駅から南へ約14km、約20分
- バス→ 中央バス滝野線(真102)
- ①札幌ターミナル〜厚別(あしりべつ)の滝 下車
- ②地下鉄真駒内駅〜厚別(あしりべつ)の滝 下車
- ※①②とも降車後徒歩5分



風の音、太陽の光、木のおい。 体いっぱい自然を感じよう!

周囲を滝野の森に囲まれた滝野自然学園は、旧滝野小学校の校舎をそのまま利用した木造の野外教育施設です。小中学校の宿泊学習や炊事遠足、幼稚園・保育園の日帰り遠足など、毎年多くの団体が利用しています。

豊かな自然環境を活かしたネイチャーゲームや環境教育プログラム、キャンプファイヤーやレクリエーションなど幅広い活動が可能です。これらのプログラムについては、専門スタッフがコーディネートから指導までを行うこともでき、団体の対象年齢や活動内容にあわせた指導・サポートをいたします。また、セミナーや合宿の場所としてもご利用いただけます。



都会の生活とは違った自然の中で、ゆったりと過ごすことができる時間を大切にしています。



薪を使った野外炊事にチャレンジ! 定番メニューのカレーライスはもちろんだが、パンもできちゃいます!



積雪がなると冬の季節から雪深い冬の季節まで、1年を通じて自然の中で活動を楽しんでいただくことができます。



集会スペースを借りて研修会を行うことも可能です。園には森でも園もリフレッシュしながら、学びを深めてみるのはいかがでしょうか?

MESSAGE

滝野自然学園は利用団体の受入れの他にも、主催事業として幼児と保護者を対象とした『森のようちえん』、小学生を対象とした『森のがっこう』、大人の方を対象とした『大人のための自然学校』等の幅広い事業を実施しております。主催事業の他にも、団体利用の皆さまに提供できる体験プログラムも現在開発中です。人と人、人と自然をつなげる施設を目指しています。どうぞ滝野自然学園にお越しください。

指定管理
受託事業

札幌市児童会館 札幌市ミニ児童会館・放課後子ども館

<http://www.g-kan.syaa.jp/>

※施設情報詳細はお問い合わせください。



基本情報

TEL.011-671-4121 (代)

【児童会館】

- 利用対象/0歳から18歳まで
- ※就学前の乳幼児は保護者同伴です。
- 開館日・利用時間/月曜〜土曜日 8時45分〜18時
- 休館日/日曜日・祝日(振替休日含む)・年末年始(12/29〜1/3)

※2019年4月現在、児童会館は107館、ミニ児童会館は93館、放課後子ども館は1館が開設しています。

【ミニ児童会館】

- 利用対象/その小学校区に居住する1年生〜6年生まで
- 開館日・利用時間/月曜〜土曜日 下校後〜18時(学校休業日は8時45分〜18時)
- 休館日/日曜日・祝日(振替休日含む)・年末年始(12/29〜1/3)

児童会館は ちいさなわたしたちの大きなお城!

児童会館・ミニ児童会館・放課後子ども館は、異年齢集団での遊びをとおして仲間作りをすすめて、子どもたちの放課後を豊かにし、地域における交流を深めることを目的として設置している施設です。児童会館は、高校生までの子どもたちが自由に活動でき、就学前の子どもは、保護者とともに来館できます。子育てサークルの活動の場としても利用いただけます。ミニ児童会館は、当該小学校区に居住する子どもたちが対象で、申請により授業終了後、直接来館することもできます。107館の児童会館では、週2回、中学生は午後7時まで高校生は午後9時まで活動を楽しんでいます。



留守家庭となる児童の受け入れを行っています。【児童クラブ】



子どもたちが事業の企画・運営の一部に参画しています。【子ども運営委員会】



乳幼児親子の遊びや子育てに関する情報交換の場の提供を行っています。【子育てサロン】



週2回、中学生が楽しく過ごせるよう夜間開放事業を行っています。【ふりーたいむ】

MESSAGE

児童会館の大きな魅力と可能性、それは「遊びやさまざまな体験を接点として、人と人とが世代を超えてつながり合える」ことです。乳幼児親子から小学生、中学・高校生、地域の方々まで、毎日たくさんの方が利用しています。児童会館をキーステーションとして、一つひとつの事業が、人と人との結びつきを深め、子どもたちや地域の方々にとってお互いを思いやり、支え合うための生きる力となるよう、今後も温かく心が通い合う児童会館作りを目指します。

指定管理

札幌市こどもの劇場やまびこ座 札幌市こども人形劇場こぐま座

<http://www.syaa.jp/sisetu/gekijou/>
【やまびこ座】 札幌市東区北27条東15丁目 TEL.011-723-5911 FAX.011-723-5934

交通アクセス

- 自動車→ 市内中心部より北に約5km、約15分(駐車約40台)
- 地下鉄→ 地下鉄東豊線元町駅2番出口より徒歩5分

【こぐま座】 札幌市中央区中島公園1番1号 TEL&FAX.011-512-6886

交通アクセス

- 自動車→ 駐車場なし。車で越しの方は近隣の有料駐車場をご利用ください。市内中心部より約5分
- 地下鉄→ 地下鉄南北線中島公園駅3番出口より徒歩1分



ワクワク! ドキドキ! こどもの笑顔がいっぱい!

「やまびこ座」は、優れた「子どものための舞台芸術」を市民に提供していくことを目的に、人形劇・児童劇などの児童文化を創作・学習・発表・鑑賞する場として造られた、子どものための専用劇場です。また、「こぐま座」は、公立としては日本で初の人形劇の専門劇場で、市内のアマチュア劇団が中心となって人形劇や紙芝居、腹話術などの上演を行っています。両劇場では、人形劇、児童劇、人形浄瑠璃などの公演事業に加え、各種講習会やワークショップ、市民劇団の育成、人形劇などに関する相談など、一年をとおして様々な事業を展開しています。「やまびこ座」「こぐま座」の2つの劇場は、これまでも、そして、これから、子どもたちの笑顔あふれる劇場を市民とともに創りあげていくために、市民に親しまれ、より身近な存在としてあり続けたいと願っています。



世界の童話や昔話、民話などを題材にしたオリジナルの人形劇を制作。



「初心者のための人形劇講座」。この他にも子どもから大人まで、人形劇や演劇など様々な講座があります。



市民の参加者を募り「東区市民劇団オニオン座」を結成。



日本の伝統芸能・人形浄瑠璃の講習会。子どもたちに豊かな体験の場を提供しています。

MESSAGE

こぐま座は札幌市中心部の中島公園内にあり、地下鉄駅から徒歩1分ほどの便利な場所にあります。たくさん緑に囲まれ、劇場の前には遊具の広場があります。また、中島児童会館と隣接しており、人形劇を観た後に児童会館で遊ぶこともできます。やまびこ座は公演がない日もロビーを開放し、圖書の貸し出し(水・金曜日)、読み聞きの会(水曜日)などを行っています。ご家族やお友達同士で、ぜひお越しください。

指定管理

札幌市若者支援総合センター 札幌市若者活動センター

<http://www.sapporo-youth.jp/>
【若者支援総合センター】

札幌市中央区南1条東2丁目 大通/バスセンタービル2号館1階
TEL.011-223-4420 FAX.011-231-2884
アクセス:地下鉄東西線「バスセンター前駅」3番出口徒歩1分

【ポプラ若者活動センター】

札幌市白石区東札幌2条6丁目5-1-304
(地下鉄白石駅バスターミナル3階)
TEL.011-862-8802 FAX.011-862-8891
アクセス:地下鉄東西線「白石駅」ターミナルビル3階

【アカシア若者活動センター】 札幌市東区北22条東1丁目

TEL.011-752-7959 FAX.011-752-7938
アクセス:地下鉄南北線「北24条駅」3番出口徒歩5分

【豊平若者活動センター】 札幌市豊平区豊平8条11丁目3-5

TEL.011-823-5256 FAX.011-823-5299
アクセス:地下鉄東豊線「豊平公園駅」1番出口徒歩3分

【宮の沢若者活動センター】 札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

TEL.011-671-4111 FAX.011-671-4103
アクセス:地下鉄東西線「宮の沢駅」地下鉄連絡通路5番出口直結

若者が元気になると、 札幌の街も元気になる!

若者支援総合センターでは、引きこもりやニートとよばれるおむね40歳未満の若者の相談窓口を設け、必要なサポートを行いながら自立や社会復帰を支援しています。

若者活動センターは、札幌市内4ヶ所に設置。若者と地域をつなぐ拠点として、若者のまちづくり活動やイベントへの参加をサポートします。また、講座の実施や若者団体の情報提供を行うなどして、若者の仲間作りや交流を促進します。なお、若者活動センターで行う同様の事業は、若者支援総合センターにおいても実施しています。

スポーツ交流会や文化系合同事業なども行っています。
(写真: Youth Cup フットサル大会)

若者の就職活動をサポートするセミナーを開催。



センターを利用する若者がスタッフとなり、地域の方々の交流事業を支援。

さっぽろ 若者サポートステーション (若者支援総合センター内に設置)

一定期間無業の状態にある若者及びその保護者の方を対象に職業意識の啓発や社会との調和などを支援する総合相談窓口です。相談・セミナー・就労体験などを開催し、若者の職業的自立を支援しています。

お問い合わせ/TEL.011-223-4421
E-mail: sapporo-saposute@syaa.jp

MESSAGE

大勢の若者と向き合う業務は新たな発見の毎日です。市民向けのイベントの企画、地域住民との交流会への参加、ロビーイベントの企画運営、スポーツ交流会、就職・就労相談など・・・若者と関わる接点が多様多様です。これからも「きっかけ」と「安心」の溢れる施設づくりを心がけ、若者との対話を重ねながら、いまだ接点を持っていない若者の来館を願っています。



指定管理

札幌市北方自然教育園

<http://www.syaa.jp/hoppou/>

基本情報

札幌市南区白川1814番地
TEL.011-596-3567 FAX.011-596-3591

交通アクセス

- 自動車→ 市内中心部から約15km。国道230号を南下し約40分。
- バス→ (駐車約30台。大型バスでも駐車可)
じょうてつバス「勝野3条8丁目」で下車し徒歩約25分



北海道の自然を、 見て、感じて、楽しもう!

札幌市北方自然教育園は、市民の教育及び文化の向上に資するための野外教育施設です。南区白川の自然豊かな立地条件を活かした約5ヘクタールの敷地に、体験農場と観察林を有し、学習館、昆虫観察園などの館内施設があります。体験農場では、市立小学校等の学習活動として田植え、稲刈りなどの体験学習の場を提供しています。水田に裸足で入り、泥の感触に思わず「気持ちいい」と叫ぶ子どもがいます。自分で植えた作物を収穫する子どもたちはとても生き生きとしています。また、園内の施設・環境を活用し、自然に触れ、親しむ場として子どもを含む家族を対象にした自然体験学習会を開催しています。



広い園内では、昆虫や植物の観察や、野菜の収穫や収穫など、四季折々の楽しい体験ができます。(水生昆虫を学んだ様子)



チョウやトンボなどを自然に近い状態で観察している昆虫観察園。間近で生態を観察できます。



学習館には、標本が観察できる「特別展示室」の他、生き物を観察できる「生態展示室」など様々な部屋があります。



ご家族で楽しめる自然体験学習会。夏・冬休みには自然の材料を使用した工作教室も実施。

MESSAGE

北方自然教育園学習館(要入場料)には、昆虫や化石などの常設展示の他、収集されている貴重な昆虫等の標本を活用して特別展示なども実施しています。また、生物飼育室では、在来種のニホンザリガニの他、外来種のアメリカザリガニ等の飼育展示をしていますので、生物のことや自然環境について、ご家族で学ぶきっかけにしてください。

敷地内には裏山、畑、水路などの環境が整っているの、蝶やトンボなどの昆虫観察ができます。ご来園をお待ちしています。



指定管理

札幌市定山溪自然の村

<http://www.sj-naturevillage.jp/>

基本情報

札幌市南区定山溪(豊平峡ダム下流国有林野)
TEL.011-598-3100 FAX.011-598-3104

交通アクセス

- 自動車→ 札幌市中心部から約30km。国道230号を南下し約1時間
- バス→ じょうてつバス
①札幌駅前ターミナルから乗車「豊平峡温泉」下車。
②地下鉄真駒内駅から乗車の場合は「定山溪車庫前」から「豊平峡温泉線」へ乗り換え。豊平峡温泉から徒歩2km(約30分)



四季を通じて 自然とふれあう 自然に学ぶ

四季折々の自然や動植物とのふれあいをとおして幼児から高齢者まで、親子や小グループが一緒になって学べる体験型の施設です。村内には、コテージ(10棟)、テントハウス(10棟)、テントサイト及び特別サイト(26サイト)の4タイプの宿泊施設を備え、宿泊しながら野外活動や自然体験をお楽しみいただけます。

自然の村施設利用者を対象に森の工作会、ハンゴウ体験会、森の観察会、ドラム缶風呂(夏季)、スノーシュー・ネイチャースキー体験(冬季)などの様々なプログラムを用意しています。また、主催事業として登山やファミリーキャンプ等の企画も用意し、市民が自然にふれあう機会を提供しています。



周辺の散策コースでの自然観察会を通じて、森について学んでみませんか?



夏には入ることのできない山の中を歩く、スノーシュー・ネイチャースキー体験。



ビギマからの安全確保対策として、食べ物の匂いによる誘引を防止するために鉄製ゴミ保管箱の設置。



毎週日曜実施の「ピザ焼き体験」。特製の万能窯で焼いたピザを昼食代わりにするのもオススメ。

MESSAGE

自然の村のおすすめポイントは、1年を通してオープンしていることです。暑くても、寒くても、雨が降っても、雪が降っても、その一瞬一瞬が大切な思い出となり、笑顔溢れる活動をしてもらえることがスタッフの願いです。自然豊かな場所に位置しますので、運が良ければエゾリスやエゾフクロウに会えますよ。キャンプデビューしたい方は、ぜひ自然の村にお越しください。



指定管理

札幌市青少年山の家

<http://www.sapporo-yamanoie.jp/>

基本情報

札幌市南区滝野247番地(国営滝野すずらん丘陵公園内)
TEL.011-591-0303 FAX.011-591-0394

交通アクセス

- 自動車→ 地下鉄真駒内駅から南へ約18km、約30分。
滝野すずらん丘陵公園の「滝野の森口ゲート」から入ることができます。※「溪流口ゲート」からは入れません
- バス→ 中央バス「滝野線(真102)」地下鉄真駒内駅より
中央バス「滝野すずらん公園」行きに乗車。
終点「滝野すずらん公園東口」で下車し徒歩30分。
※季節運行のため要確認。



札幌で自然に一番近い「家」があります。

札幌市青少年山の家は、国営滝野すずらん丘陵公園内にある野外教育施設です。自然の中で集団宿泊生活、野外活動などを通じて創造性と豊かな心をはぐみ心身ともに健全にたくましく生きる青少年の育成を図ることを目的としています。山小屋風の宿泊室、室内キャンプファイヤーが可能な多目的ホール、バイキング形式の食堂、屋根付の炊事場など団体での利用に対応する様々な設備が整っています。学校団体や社会教育団体など多くの方にご利用いただき、南区滝野の豊かな自然環境を生かした活動が行われています。また、主催事業として自然観察ハイキングや陶芸体験会、子ども対象のキャンプ事業などボランティアスタッフと協働して各種事業も実施しています。



幼保小連携事業「なかよしキャンプ」では、幼児と小学5年生が一輪に自然体験を楽しんでいます。



各団体からのご依頼や主催事業において、ボランティアスタッフの皆さんに活躍いただいています。



多目的ホールでは、室内キャンプファイヤーが実施でき、天候に左右されずに活動できます。



指導者ワークショップやボランティア研修など、相互で学ぶことができる場を提供しています。

MESSAGE

札幌市の野外教育施設である青少年山の家には小学校5年生の宿泊学習をはじめ、ご家族、サークル活動等、幼児さんから高齢者まで幅広い利用があります。またキャンプや自然観察ハイキングなど滝野の自然にふれる主催事業も実施しております。山の家で過ごされた利用者みなさんの晴れやかな笑顔をいつも楽しみにしております。自然とのふれあいに、人とのふれあいに、自分とのふれあいに、青少年山の家へお越しください。

指定管理

札幌エルプラザ公共4施設



札幌市北区北8条西3丁目 札幌エルプラザ内

【札幌市男女共同参画センター】

<http://www.danryo.sl-plaza.jp/>

TEL.011-728-1222 FAX.011-728-1229

【札幌市消費者センター】

<http://www.shohi.sl-plaza.jp/>

TEL.011-728-2111

【札幌市市民活動サポートセンター】

<http://www.shimin.sl-plaza.jp/>

TEL.011-728-5888 FAX.011-728-7280

【札幌市環境プラザ】

<http://www.kankyo.sl-plaza.jp/>

TEL.011-728-1667 FAX.011-728-1400

交通アクセス

- 自動車→ 市内中心部 J 札幌駅北側に位置。有料駐車場あり。
- 地下鉄→ JR札幌駅・地下鉄さっぽろ駅下車、北口地下通路
12番出口から建物まで直通、徒歩5分程度。



人々が集い、学び、楽しむ、「活動とふれあいの拠点」

札幌エルプラザは、男女共同参画社会を実現するための活動を支援する「札幌市男女共同参画センター」、市民の消費生活の安定と向上を図るための「札幌市消費者センター」、ボランティアやNPOなどさまざまな分野の市民活動を支援する「札幌市市民活動サポートセンター」、環境保全活動を推進する「札幌市環境プラザ」の4つが集まる複合施設です。また、4施設の分野に関する情報収集や情報発信ができる「情報センター」も併設しています。

この4施設は、それぞれの分野に関する活動を行う団体や個人への活動支援、講座、ワークショップなどを実施するほか、情報の収集・発信や相談事業も行っています。また、貸室(有料)や市民活動団体の支援のためのスペースを整備し、複合施設の利点を生かして、個々の活動の目的達成支援を目指し施設運営をしています。



札幌駅から地下歩道でつながっており、悪天候でもお子様連れの方でも安心して来館できる施設となっております。



各施設それぞれの分野のセミナーや講座を実施。スキルやキャリアアップを目指し多くの方が参加しています。



女性の悩み相談や、市民活動・環境活動を推進するための相談など各分野の専門的な相談窓口を設置しています。



環境教育やユニバーサルデザインの学習などの見学にも応じています。

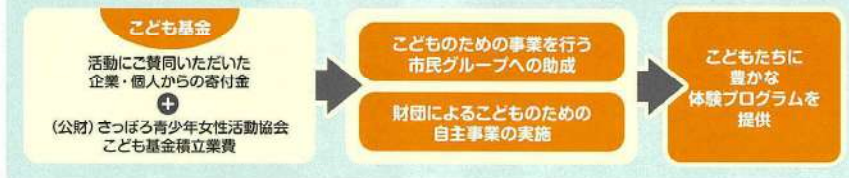
MESSAGE

札幌エルプラザ公共4施設は、市民活動や趣味の活動、セミナーの受講など、幅広い年齢層で年間67万人の方にご利用をいただいている施設です。何か一歩を踏み出してみたい、自分の力を活かしたい、セミナーを受講してスキルアップしたいなどお考えの方、足を運んでみませんか？また、男女共同参画、消費生活、市民活動、環境保全に関する情報が欲しいという時にもぜひご活用ください。

～子どもたちの体験活動を幅広く応援!～ こども基金「さっぽろスマイルキッズ」

さっぽろスマイルキッズとは

子どもの体験活動の場を安定的に提供することを目的として開設しました。子どもたちに豊かな体験の機会を提供し、人との関わりや社会との関わりを広げることで、子どもたちの健やかな成長を支援します。



さっぽろスマイルキッズは次の事業を行っています。

- ① 子どものための事業を行う市民グループへの助成
- ② 公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会が自主的に行う事業

寄付の方法

- ① 銀行窓口からの振込
- ② 現金による寄付

※ご支援をいただける場合は、お電話、FAX、またはこども基金専用メールアドレスまでご連絡をください。お申込み方法を通じてご連絡させていただきます。

スマイルキッズシンボルマーク

人と人の和(輪)や縁(円)を大切にしたい気持ちを込めて、手を取り合って輪を作り、育むイメージをデザイン。中央のハートは人と触れ合う喜びや愛情を、輪に囲まれた中央の若葉は子どもの成長や可能性、自然、人の輪の中で育つ気持ちをイメージして作られたシンボルマークです。



こども基金に関する詳細・お問い合わせ

公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会 総務課 (こども基金担当まで)

TEL 011-299-4590 FAX 011-707-4103

E-mail smilekids@syaa.jp (こども基金専用)

こども基金ホームページ <http://www.syaa.jp/syaa/childfund/>



役立つ情報をより 多くの方に届けるための 情報発信

各施設のリーフレットや情報誌の作成の他、こどもが楽しめる札幌のイベントや遊びの情報を提供する情報誌の定期発行、ホームページの作成など、積極的な情報提供を行っています。



さっぽろ・こども情報誌『あそぼ』の定期発行(年6回発行予定)

活動協会で実施している事業の紹介や募集情報、そのほか札幌市内で子どもと一緒に参加できる様々なイベント情報などを紹介。子どもたちの体験活動を応援する遊びの情報が盛りだくさんの情報紙です。【2009年7月発行開始】

今後も、たくさんの方に手にっていただける魅力的な情報誌を目指し、読者のニーズに合った役立つ情報を提供していきたいと考えています。



『あそぼ』のバックナンバーは、
活動協会ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.syaa.jp/syaa/asobo>



街の鼓動

街のなかのどこかに

ほんやりとしている

こどもがいたら

そっと笑顔を届けたい。

喜れてゆく街のなかを

さすらっている

若者がいたら

握り合う手を差し**の**べたい。

日々の暮らしの中で

むなしさを感じている

お母さんがいたら

おしゃべりの**こ**えを聞かせたい。

この街のなかで

生きてゆこうとする人々に

どうぞお伝えください

私たちのことを。



公益財団法人

さっぽろ青少年女性活動協会

札幌市西区宮の沢1条1丁目1-10

TEL.011-671-4121

FAX.011-671-4103

<http://www.syaa.jp/>